

韓国でランピースキン病が発生！

令和6年12月以来、1年7か月ぶりの発生！

ランピースキン病とは

- ・ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病（人への感染はない）
- ・蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的な伝搬や感染した牛の移動により感染が拡大！
- ・全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少により生産性が低下

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

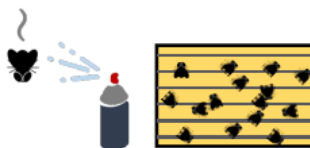
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用
する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

韓国におけるランピーズキン病の発生状況 (2026年7月12日時点)

過去の発生状況

	発生件数	殺処分対象頭数
2023年	131件	6,995頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-

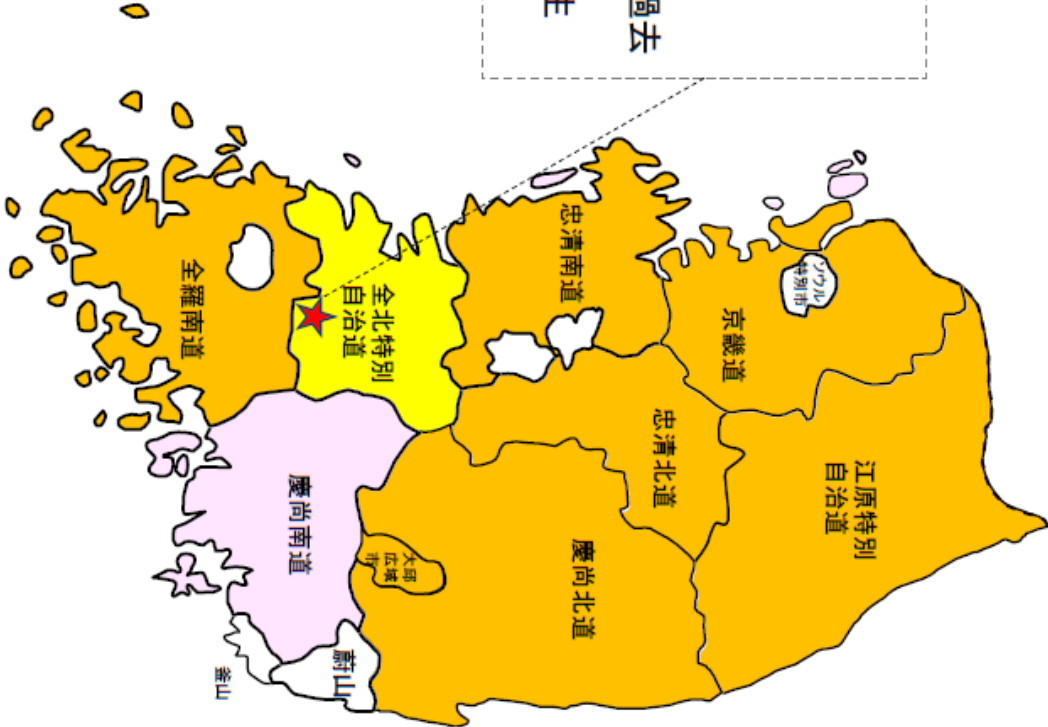
全北特別自治道

2026年7月11日

淳昌郡

韓牛農場（8頭飼養）

（参考）全北特別自治道の過去の発生状況
2023年10月24日以降14件発生
（2024年には発生なし）



★：2026年に発生が確認された地点

：2026年に発生が確認された行政区画

：2024年に発生が確認された行政区画

：2023年に発生が確認された行政区画